

産業建設委員会記録

令和6年3月26日(火)
9時00分～9時55分
第3委員会室

【委員】川上委員長、~~田畑~~副委員長、沖田委員、串崎委員、上野委員、布施委員、
牛尾委員

【議長・委員外議員】

【執行部】

【事務局】大下書記

議題

- 1 モニタリングレポートから抽出した調査対象施設について
- 2 道の駅の視察について
- 3 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[09 時 00 分 開議]

○川上委員長

現在出席委員は6名で定足数に達しているのですが、ただいまから産業建設委員会を開会する。本日、田畑副委員長からは欠席届が出ている。それではレジュメに沿って進める。

1 モニタリングレポートから抽出した調査対象施設について

○川上委員長

皆の手元に各委員からいただいた調査票がある。大変申し訳ないがその最後、1ページ目の一番下は総務文教委員会だった。これだけ訂正させていただく。あとはご覧のとおり、色々なことを見たいとの話があった。特に山陰浜田港公設市場については3人の方から。これは見ておいたほうが良いだろう。全部で12か所あるが、全ては難しいと思うので特に心配なものはどこか。山陰浜田港公設市場はモニタリングレポートでも毎年300万円から700万円の赤字を出している。赤字でも運営されているので良いが、まんてんのようなことがあったらまずい。

○牛尾委員

公設市場は人件費である。つなぎで元市役所OBが行っているのと、その下に事務員がいる。

○川上委員長

多分それが響いているのだろう。

○牛尾委員

ただ、潰すわけにいかないのでチェックに入って問題があれば早目に対応することが必要である。

○川上委員長

山陰浜田港公設市場についてはどうでしょうか。私は3年分の財政状況を1回見せてもらいたいと思っていたのだが。財務表の中に人件費も全部載っているのだから。

では1件目は山陰浜田港公設市場3年分で良いか。

○小川委員

これは①や②と僕が書かせてもらったのだが、モニタリングレポートを見る中で多少気になった。例えば賞与などが契約では23万円計上されているが、それがゼロというのは、こういうところに無理があるのかと思った。それがあまり続くとモチベーションが下がるのではとの心配があった。ただ、最後のその他は、四つに絞ってそれ以外を外した根拠を書いていたので、特に意見として書いたわけではない。

○川上委員長

モニタリングレポートだけでは見えない部分が結構出てくる。例としてモニタリングレポートが上がってくるのであって、中身は精査しないと本当の状況は見えてこ

ないのが事実だと思う。

○佐々木委員

13番で一番気になったのは本社経費を結構投入されていること。

○牛尾委員

公設市場は仲卸の指定管理をお任せしている。商業棟は第一ビルサービスがやっている。

○佐々木委員

この辺の関係性が良く分からなかった。1,500万円くらい本社の経費に消えている。

○牛尾委員

家賃は全部、第一ビルサービスに入るようになっている。

○佐々木委員

そういうものなのかもしれないが。

○川上委員長

それは精査しないと分からない。

○佐々木委員

本社に変わっているのはここだけなのだろう。そういう約束でやっているのかもしれないが。

○牛尾委員

当時、レストランが3店舗くらい入らないと当初計画より家賃収入が落ちる。魚屋のテナント家賃と物販関係の第一ビルサービスが入って回している。ただ、市が補助金を一切出してない。ただ、仲卸の管理のお金だけを、今いる元市役所OBと事務員と左側の市場の経費は出している。それはなぜ出しているのか。仲卸の家賃は第一ビルサービスに入るようになっている。それで運営せよという条件で公募したから、応募は2件しかなかった。最終的に残ったのが第一ビルサービス。

○川上委員長

指定管理はゼロだから中で運営しなければならないが、運営状況はこういう状態で、先ほど佐々木委員が言われたように本社経費として計上されているものが足を引っ張っている可能性はある。とはいえ、それが悪いわけではない。これでも運営できているのだから。

○牛尾委員

今、下のテナントは10か12か。

○川上委員長

多分10ではないか。

○牛尾委員

10と上のレストラン3店舗の、13店舗の家賃が第一ビルサービスに入るようになっている。そして仲卸の運営は市からの補助金か何かと、共益費か何かで市場だけは運営しているのではないか。

○川上委員長

それも確認しようか。

○牛尾委員

あの中がどのように運営されているか、最初から勉強会をしたらどうか。潰れてもらっても困る。

○川上委員長

全体の運営についての勉強会という形でおさらいさせてもらい、もう一度共通認識を持とう。

○牛尾委員

千畳苑はもう譲渡予定だろう。

○川上委員長

はい。千畳苑も実際はここに書いてあるとおりである。あれだけ直しておりながら、なおかつまたこうして。令和4年度はやっと900万円くらいの黒字を出している。

○牛尾委員

千畳苑は団体で入れるし人気がある。

○川上委員長

千畳苑はもう良いかと思う。次、かなぎウエスタンライディングパーク（以下、ライディングパーク）。

○牛尾委員

ライディングパークは、あまり言うてはいけないのだろうが、とっくに民間譲渡の予定だった。1回くらい様子伺いさせてもらったほうが良いのではないか。

○川上委員長

ライディングパークもしかり、あそこの関係は全部譲渡の予定である。

○牛尾委員

平成21年もしくは25年には譲渡予定だった。

○川上委員長

どちらにせよ、これは運営状況を見せてもらおうということで良いか。

○牛尾委員

見せてもらったら良い。いつまでも市が抱える施設かどうか。

○川上委員長

これが続くようなら市が支える必要ないだろうし。次、17番のリフレパークきんたの里（以下、きんたの里）。これも多分黒字だと思う。令和2、3年は赤字だったが、令和4年で黒字になっている。ただ、令和5年度がどうなったかは見ておかないといけないと思う。きんたの里については、令和5年度の状況だけ教えてもらおうか。

次、18番森の公民館。これも本来であれば民間譲渡の対象である。

○牛尾委員

熱心にされている。ほとんどあそこのものなので、あげれば良い。

○川上委員長

意見として付け加えても良いかとは思いますが、そういう話をしても良いか。

○牛尾委員

1回館長の考え方を聞いてみたらどうか。熱心な方なので。

○川上委員長

では、機会を設けて。

○牛尾委員

大事な施設なので、今後どうだろうかという話を。整備して渡したほうがもっと利用の幅が広がるかもしれないし。

○川上委員長

しかし館長も高齢ではある。

○牛尾委員

お元気ではあるが。

○川上委員長

18番は機会を設けて館長の話、将来に対する思いを聞いて、委員会としてのある程度の方針を出したい。そういう方向でよろしいか。

(「はい」という声あり)

次、19番。浜田市地域材利用促進交流館。

○牛尾委員

これはどこにあるのか。

○川上委員長

きんたの森の番地内にあったかと思う。地域の交流場所として使われている。

○村木委員

収容人数を増やすと言われた施設である。

○川上委員長

これについては、中に民間事業者が入っておられるのであまり関わりたくない。地域には104軒の家もある。

○牛尾委員

置いておこう。

○川上委員長

では19番は置いておく。次20番の波佐地場産業技術研修センター。

○牛尾委員

これは、もらってくれと言うが相手がなかなかもらわない。

○川上委員長

これは先日も担当者から、譲渡してもらってもなかなか維持が難しいので少し考えてもらえないだろうかとの話もあったが、私としては、譲渡しても良いのではないかと思う。ただ、固定資産のことがあるので多分向こうも考えているはずである。

○牛尾委員

私の知る限り、譲渡予定になってから十数年経過している。本当に譲渡できるかどうかも含めて、そろそろ話を聞かせてもらう必要があるのでは。

○川上委員長

先ほども言ったように、ここの担当者からほんの2、3日前に話があった。1回これも聞いてみよう。今のところ、18番、20番については担当者の意見を伺う。

次に21番、浜田市縁の里地域振興施設。地域の高齢化によってものが出てこなくなったため、なかなか運営も難しいと聞いている。今は週2日。運営はもう難しいと思う。

○牛尾委員

合併時に色々あって、担当者が頑張っていたが、生産者が付いてこないだろう。ここは一時、温泉も一緒に管理しておられた。

○川上委員長

もう温泉は閉まっている。あとはできるとしたらグラウンドゴルフだけである。グラウンドゴルフは毎週やっている。どうしようか。地元譲渡も難しいかもしれない。

○牛尾委員

地元はもらっても回せないだろう。

○川上委員

無理だと思う。

○牛尾委員

色々な漬物が出ていたときに、漬物甲子園をやったらどうかと考えたこともあったが、4月から法律が変わってそれも駄目になる。HACCPで工場規模が一定レベル以上でないともものが作れない。皆高齢者が背負っておられるので、今さら設備投資をする話にはならない。

○川上委員長

21番はどうするか。

○牛尾委員

今いくら出しているのか。

○佐々木委員

指定管理料38万円か。

○川上委員長

わずかである。

○佐々木委員

行って話を聞いてもどうにもならない。

○牛尾委員

行って話を聞けば、もう少し出してくれという方向にしかないだろう。僕が議長時代に10人くらいで来て、180万円出してくれれば何とかなると言われたので、それは無理だろうと答えたことをよく覚えている。風呂も含めて。当時皆出資させられていて、閉めても借金だけ払うことになるという話だった。

○川上委員長

今、風呂は閉めていて残ったのはこの施設だけだが毎年赤字が続いている。確か

に指定管理料としてはわずかだが、それを増やせば何とかかなるという問題ではない。

○牛尾委員

建物には結構お金を出している。多分合併特例債か何かで建っているのでは。

○川上委員長

確かほかのお金も使っている。ここは妙に触らないほうが良いだろうか。

(「はい」という声あり)

では次、浜田市美又温泉国民保養センター。これはもう方向性が決まっているので今触りたくない。3年後には廃止になる。

次、浜田市地域交流プラザ。すでに潰れたのでこれも良いだろう。次、旭温泉あさひ荘。これも一時大変だったが、今はまた少し黒字になりつつある。運営者が変わったと同時にコロナが終わった。

○牛尾委員

これは第一ビルサービスが買い取ったのではなかったか。

○川上委員長

違う。これは地元にならに新たに來られた方が運営されていると思う。置いても良いか。

○大谷委員

頑張っておられるというのなら、その様子をもう少し見守らせてもらう形で良いのでは。

○川上委員長

では様子見ということで。

○牛尾委員

評価もAである。

○川上委員長

最後は、浜田市三隅特産品展示販売センター。非常に黒字である。

○牛尾委員

なぜ黒字か分かっている。前の指定管理のときは500、600万円しか出してないのに、これは1千万以上している。もともと無理な経営をさせ過ぎていた。

○川上委員長

とはいえ毎年これだけ出るということは、指定管理料自体が高い、逆に言えば、黒字になったら黒字分または3分の1や半分をキックバックしてもらわなければ。そうならないのでは。

○牛尾委員

なっていない。すごく経営努力はしておられる。どうなのか。

○村木委員

なるべく利用している。

○川上委員長

その辺を少し出してもらっても良いのでは。

○村木委員

今バイパスが三隅まで来ているが、益田まで開通したときの影響がどうかという話はしたことがある。令和7年に開通する。それでも魅力があるロケーションなどを生かしていきたい。あそこは結構神楽イベントをしたり、地元の室谷とのイベント事業をやったりするので、そういった経営的なこともあるのかと思う。

○川上委員長

無理に協力金を払えと言う必要はないかもしれないが、指定管理料を支払っている関係上、協力金をいただいても良いかと思う。

○佐々木委員

役員報酬も結構取っている。

○川上委員長

そう、しっかり取られている。なおかつこうして出てくるということは。

○佐々木委員

役員報酬を取って、結構もうけているのに、指定管理料を払っている。

○牛尾委員

前の指定管理者に比べたら、指定管理料が数百万と大幅にアップしている。簡単に考えても、そこから利益が出て役員報酬を取っているなら指定管理料が多すぎるのではないかと。外形的には。そうでない理由があるかもしれないが。

○川上委員長

この施設については、申し訳ないがまたしっかり見させてもらおうか。そうすれば中身が見えるので。

(「はい」という声あり)

13番は3年分について、30番についても3年分について、財務状況を見させてもらう。失礼、ライディングパークもあったから、13、16、30番について3年分見させてもらう。

18番と20番については、管理者の意見を伺って今後の方針を調べてみたい。以上のとおりとしたいと思うが、よろしいか。

(「はい」という声あり)

この議題について、ほかに何かあるか。

○小川委員

17番は、令和5年だけ見るという話ではなかったか。

○川上委員長

失礼、17番は令和5年の状況だけ調べさせてもらう。コロナの関係で把握しているかどうか確認させてもらう。以上で間違いないか。

(「はい」という声あり)

ではこの中の、18番と20番については私の地元地域なので、早々に調整させていただく。よろしいか。

(「はい」という声あり)

○大下書記

それは、こちらに呼ぶのか。

○牛尾委員

呼ぶと参考人招致になるから、お金が要る。

○大谷委員

行って現地で話を聞けば、一通り様子が分かって良いのでは。

○川上委員長

なるほど、では現地で聞こう。

○牛尾委員

もし良ければ、時間を合わせて食事でもして帰れば良い。

○川上委員長

森の公民館はそれができる。

○牛尾委員

森の公民館は良いロケーションである。

○川上委員長

では、18番と20番については私のほうで調整し、現地でお話を聞く。なおかつ、できれば18番で昼食をいただいた上でお話を聞く形にしたいと思う。

2 道の駅の視察について

○川上委員長

皆から案があれば願います。

○牛尾委員

いつだったか大下書記に、候補地をいくつか出したのだが。

○大下書記

道の駅あわじと、もう一つも四国だった。

○大谷委員

道の駅あわじはかなり大きい。

○大下書記

ロケーションもすごい。もう一つは、道の駅くるくるなると。

○牛尾委員

市長が社長で、最近立ち上げた。道の駅あわじはすごい成功例なので、行ってもあまり参考にはならないかもしれない。

○大下書記

規模が違う。

○大谷委員

あそこは京阪神を抱えているので、土日日帰り圏内なので、環境設定としては違い過ぎる。

○川上委員長

極力、こういうところに近いところが良い。

○牛尾委員

三桜酒造跡地はもう部材くらいしか使えないから、酒蔵を改装して道の駅云々といった絵は描けないだろう。お金を投じれば描けなくはないかもしれないが。

○川上委員長

行くなら酒蔵関係もせっかくなので見てみたい。

○牛尾委員

道の駅あわじよりも、道の駅くるくるなるとのほうが参考になると思う。

○川上委員長

それと酒蔵。

○大下書記

岡山のほうか。市がやっておられる。

○村木委員

もし見るなら、あわじより岡山のほうが良いと思う。

○牛尾委員

1泊2日コースなら2か所くらいで十分ではないか。JRで行けるだろうか。

○大下書記

車が出せないのです。

○牛尾委員

特別委員会でないから市のバスは使えない。

○川上委員長

いずれにせよ調べてみてほしい。

○大下書記

行くとしてもJRでどこかまで行って、そこでレンタカーを借りるなどになるのではないか。

○村木委員

以前行ったときは改修中で見られなかった。岡山市が改修していた。

○川上委員長

では、この二つを回るといって今は考えていただいて、問題は時期である。

(以下、日程について協議)

暫時休憩する。

[09 時 35 分 休憩]

[09 時 36 分 再開]

○川上委員長

委員会を再開する。先ほどの道の駅の視察について、調整が未定だが一応4月25、26日の1泊2日で計画してみたい。場所は道の駅くるくるなると岡山県のかながわS AKAGURA。

○大谷委員

かながわSAKAGURAはどういうところが魅力なのか、聞かせてもらえるか。

○川上委員長

ここは旧酒蔵をそのままリノベーションさせた形になっており、それを市が管理している。

○牛尾委員

三桜酒造跡地にどういう絵を描くかは色々あるだろうが、一つの参考にはなる。

○大下書記

駅から徒歩圏内で食事ができて、展示ホールやギャラリーがある。

○牛尾委員

それから一部部材をどのくらい利用できるか。現物を見ないと分からない。

○大谷委員

良く分かった。

○川上委員長

ということで進めたい。皆よろしいか。

(「はい」という声あり)

次に、新たに浜田の道の駅が今後プロポーザルに掛けられる。産業建設委員会としてはプロポーザルの中身を少し知っておく必要があるのではないかと思う。特に浜田市所有の建物を使って商売してもらって、指定管理料を払うのかもしれないが、いずれにせよ利用していただくので利益が出たという時点では、いくらか協力金をいただくことも考えなければいけないと思う。プロポーザルの条件を委員会として見せてもらうという方向を出したいと思うが、よろしいか。

○大谷委員

頑張って利益が出るようであれば、それについてはこれまでの経緯を考えても、いくらか協力金をいただくのはありがたいことなので、その可能性や適性な方向性が出るのかどうか。そこを見させていただくのは良いと思う。

○牛尾委員

賛否両論ある中であそこを買い取ったが、ゆうひパーク浜田の歴史を見ると、最終的には市役所が面倒を引き受けたことになる。浜田の顔だからと。では、浜田の顔になるなら皆買い取るのかと言われる方もいる。全国1200の道の駅の中でもベスト10に入る。ロケーションなど色々な面で。したがって最低年間5億円は売れると言われる。5億売れたら相当な利益が出る。初期投資の大きさは抜きにして、そこを買い取って今は市の財産なのだから。利益が追及できるので色々な企業がねらっていると聞く。当然、結果が出た場合にはいくらかの協力金はバックしてもらうようなことがないと。そのお金で市民サービスをすることを考えていかないと、なかなか良いことにならないのではという気がする。

○川上委員長

市民の理解を得るのもなかなかしんどいのではないかと思う。もうけっ放しはい

かななものかと考える。では、プロポーザルの条件を委員会として確認する。加えて、協力金についての設定も見てみたい。同時に、委員会としても若干意見を述べたいという形でよろしいか。

(「はい」という声あり)

今回の道の駅を、指定管理料を出してやってもらうか、またはゼロでやって協力金をバックしてもらうか、これはプロポーザルの状況なので見ていきたい。

ほかに何かあるか。

○大谷委員

美又温泉国民保養センターの後、日帰り温泉施設について。詳細設計に入るが、その前段階でどういう方向性で設計するのか、そのあたりが確認できたらと思う。かけ流しができるかどうかで違ってくる。大きな浴槽だと難しいかもしれないが、小さい浴槽を用意してそこだけでもかけ流しができるなら、良い売りになると思う。基本設計などは投げてしまうともう難しいので、事前に確認したほうが良い。

○川上委員長

基本設計を投げる前に、基本設計に対する思いや考えを委員会として聞いておきたいということか。

○牛尾委員

どういうコンセプトで造られるか。特に源泉の場合は、かけ流しができるかできないかで、通の反応が全然違う。

○川上委員長

これについてはお呼びしても良いし、金城支所へ行っても良いが、来てもらおうか。担当課長にご協力いただく。それについてはお任せいただけないか。

(「はい」という声あり)

そのときは当委員会を開く。よろしく願います。

○大下書記

これはいつ頃の予定か。

○川上委員長

なるべく4月前半でやりたい。調整させてほしい。

○大谷委員

温泉は浄化システムが大変なのでコストが掛かるのだが、メンテナンス施設をガラス張りにして、こういう装置で温泉を整備しているというのを逆にってもらうほうが、PRとしては良いと思う。どういうコンセプトで利用者に満足度を持ってもらうか一緒に考えさせていただけたらと思うので、よろしく願います。

○川上委員長

希望を出しながらやっていければと思う。

3 その他

○川上委員長

ほかに何かあるか。

(「なし」という声あり)

なければ私から情報提供をさせてほしい。実は先日、浜田市猟友会の会長から話を聞いた。昨年もツキノワグマが浜田市内に出ている。同時に各地にもいっぱい出ている、先般も桜江町で森林組合の方がケガをされた。そういうことを踏まえながら、市内猟友会会員の捕獲班増員について言われた。理由は、浜田は東と西に分かれているが、それ以外の金城、旭、弥栄、三隅については猟友会員全てが捕獲班員である。しかし浜田は全てではない。80人くらいいるのに30人超しか捕獲班員になっておらず、これで十分なのだろうかという思いがあるので、近々陳情か請願を出して、浜田の捕獲班員も増やしていただいて協力していただきたいと言いたい、とのことだったため、産業建設委員会委員長の私に先に話があった。事前に言うので、出したときは皆考えてくれと言われたので、情報提供しておく。

現在、浜田においては令和5年度の会員数、東が36人、西が36人。金城が37人、旭が53人、弥栄が33人、三隅が37人。先ほど言ったように浜田支部は捕獲班員がそのうち約半分だけである。お伝えしておく。本当は今日来て説明したいと言われていたが、それは堪えてもらった。近い将来、陳情か請願が出てくる。

○牛尾委員

罾ではなく鉄砲なのだろう。動員するといっても鉄砲を撃つ必要があるから、なかなか難しい。

○川上委員長

罾は意外と多い。浜田は63人だったか。

○牛尾委員

何年か前の一時、普通の人も罾を使えるようにしてほしいという陳情があった。

○川上委員長

浜田の特に東は銃が12人しかいない。

○大谷委員

銃となると警察のこともある。

○川上委員長

捕獲して罾に入って放置できない場合は、金城などから呼んでくることになりやすいので、なるべく浜田で対応できれば良いと言われていた。

○牛尾委員

今までそういう陳情が出たことは一度もないので、誰かがやっているのだろうくらいのことしか考えなかったが、真剣に考えなければいけない時期なのだろう。

○川上委員長

特に罾にかかったものを放置しておく、手足を自分で切って出てくるため非常にまずい。以上、情報提供しておく。

他にないか。

(「なし」という声あり)

ないようなら、以上で産業建設委員会を終了する。

[09時 55 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 川 上 幾 雄